

目を閉じて 大きな口開け 福を食う

歳徳神はさていずこ

神に祈るは楽あれど

苦勞あっての我が人生 共に楽しもぞ我が人生

今は ただ ただ 笑いあい

昔 懐かし 今がある

2月のできごと

- | | |
|-----|---------------|
| 3日 | 豆まき(元亀・風和・GH) |
| 6日 | 豆まき(通所) |
| | 書道教室(元亀の里) |
| 9日 | 誕生会(元亀・通所) |
| 11日 | 陶芸教室(通所) |
| 20日 | 書道教室(元亀の里) |
| 21日 | 書道教室(風和の里) |
| 28日 | 書道教室(風和の里) |

恵方巻き：節分の夜にその年の恵方（歳徳神の在する方位）に向かって目を閉じて願い事を思い浮かべながら太巻きをまるかじり（関西弁では「まるかぶり」）するのが習わしとされている。七福神に因んで、かんぴょう、キュウリ、シタケ、だし巻、うなぎ、でんぶ等七種類の具を入れて、福を食べるという意味合いもあるらしい。商売繁盛、無病息災、願い事が叶う、その年必ず幸運が訪れる、厄落とし等の意味を持つともされる。2000年前後から、マスコミやコンビニで取り扱われ、私たちの良く知るところとなった。「フリー百科事典『ウィキペディア(Wikipedia)』」

3月の行事

- | | |
|-----|------------------------|
| 3日 | 雛祭り(各事業所) |
| | GHでは桜餅と甘酒を頂きます。 |
| | 通所ではケーキ作りをしますよ。 |
| 5日 | 書道教室(元亀の里) |
| 8日 | 誕生会(元亀・通所) |
| 10日 | 陶芸教室(通所) |
| 16日 | 歌の発表会
皆で歌って楽しみましょう。 |

19日 書道教室(元亀の里)
25日 消防総合訓練(元亀の里)
27日 書道教室(風和の里)



これから
見頃です♪

☆お誕生日おめでとうございます☆



思い出話は苦労したことばかりと語り出した河野氏。口調は穏やかでとても丁寧。いつでも誰にでも礼を尽くす様な気持ちのやさしい方だ。結婚したのは二十歳の時。親戚筋にあたる方との縁だった。生まれ育ちは熊本八代の田舎であったが、お嫁に来たのは長崎佐世保の街だった。ラジオ屋の商売をしていたご主人。商売は上手くいくことばかりではなく、苦労の多い生活だった。店をたたむと夫婦そろって住み込みで旅館勤めをしたこともあるそうだ。旦那さんは、学歴はないけれど、独学で英語でもカメラでも文明の利器には強く、新しいことにどんどんチャレンジしていくような人だった。河野氏も独学で、もしくは働いていく中で、多くのことを身につけてきた。ただ、実の母を2歳か3歳の時に亡くし、実父と義母に育てられた河野氏は、兄弟は8人で賑やかではあったが、女学校や簿記学校には行かせてもらえなかつたことを悔しく思うことがあるそうだ。

「私は気が強いんですよ。夫婦喧嘩も勝たないとどうもいかんごとして、女はまげてこそかわいげがあるのにと主人によく言われていましたよ。」今の河野氏からは想像がつかない。「表面はやさしく見えるんでしょうね。猫かぶりだから。」と笑って話す。

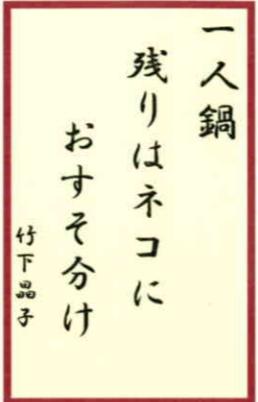
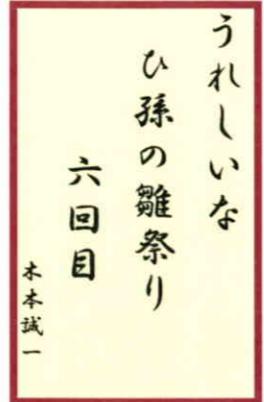
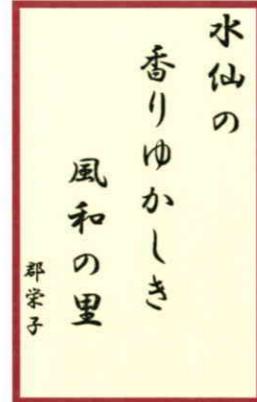
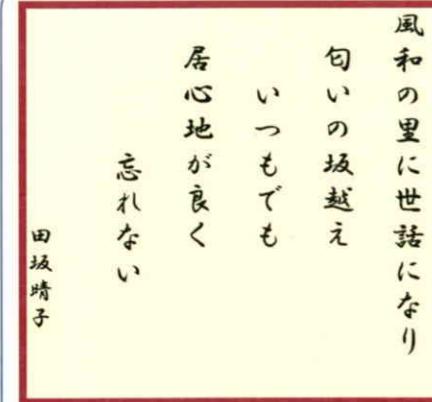
今の河野氏の楽しみは、お孫さんや若い子たちの恋愛話を聞くこと。自分が若い時に恋愛をしていない分、若い人たちの恋愛話がとても好きなのだそうだ。時には、恋愛アドバイザーになって教育もしてくれている。「男は、へらへら笑わずにどっしり構えなさい。恋愛の責任はきちんと取らないといけないのよ。」とか、「ちょっと仕事に慣れたからって、全部ができたわけじゃない。経験を積んで注意されたことをできるようになってから、文句をいいなさい。」と仕事のアドバイスまでしてくれる。決して嫌味ではなく、親身になって話をしてくれる。だから、皆が語りに来ちは河野氏の話を待っている。「私もたくさん的人に助けられてきたから、自分が役に立つものならば、役に立って助けてあげたいんですよ。」

河野氏は、いつも謙虚に一つ後を歩きながら、しっかりと自分の強さを持っている素敵な女性だった。 これからもたくさんの素敵なお出会いが訪れますように！？お誕生日おめでとうございます。

Vitality Space

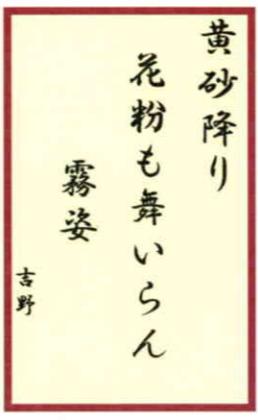
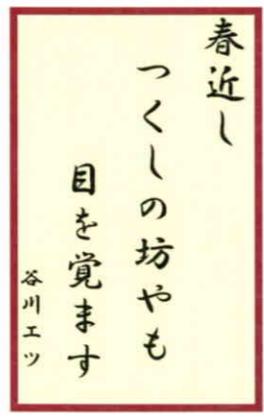
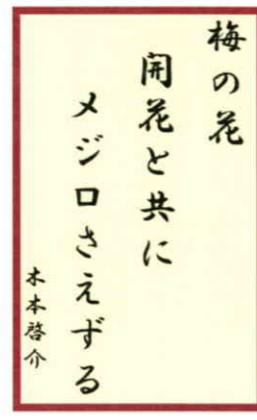
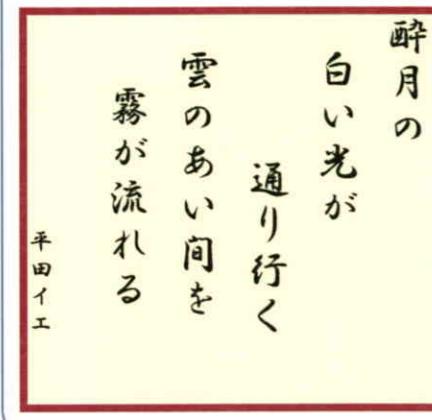
バイタリティースペース

「Vitality」とは、生命力・活力・活気・元気・持続力等の意味があります。せいひ会を利用される皆さんのお活動にはこのバタリティの力にあふれています。その活動を紹介するコーナーです。



うたの時間

隔週水・土曜日十四時風和の里にて開催中。



ここに載せられなかった作品もたくさんございます。ぜひ、見に来て下さい。



節分



風和の里では、レクレーションで体を動かしながら豆まきを楽しみました。最近は、スーパーに売っている豆まき用のお菓子の中に鬼のお面と福の神のお面が入っているんですね。しかし、どこの鬼も男性ばかり。家でも大概はお父さんが鬼役ですよね～。さてはて、本当の鬼は誰かいな？女は強し？器量よし♪



元亀の里では、もう伝統になりつつあるあの口上と共に豆まきが始まりました。地域の子供たちもこの口上を言いながら豆まきに来てくれます。鬼豆うちでございます。

田畠、千田に千俵、
この家に入ったる福恵比寿。
親も代々、子も代々、代々伝わる、福の神。
福はこの家に、
どんなんどっさり、どんなんどっさり。
鬼は外、鬼は外、福は内、福は内。

編集後記

風光るこの頃。春がそこまで歩み寄っているような気がします。花が咲き、沈丁花の香りが漂ってきました。春前の強い風に誘われて黄砂が景色を濁らせます。黄砂や花粉が目にしみて涙を流す私がいますが、卒業という節目に涙する人たちもいるようですね。風和の里の利用者も孫、ひ孫の節目の年を楽しみにしています。一つ一つの思い出はその時だけの思いです。ぜひ、素敵なお姿を見せてくださいね。（佳）

知恵袋！！

ケアマネの独り言